

愛媛県の地震

2026年5月

目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図 1
2. 地震概況 1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図... 2～3
5. 地震一口メモ
地震予知はできるのか? 4

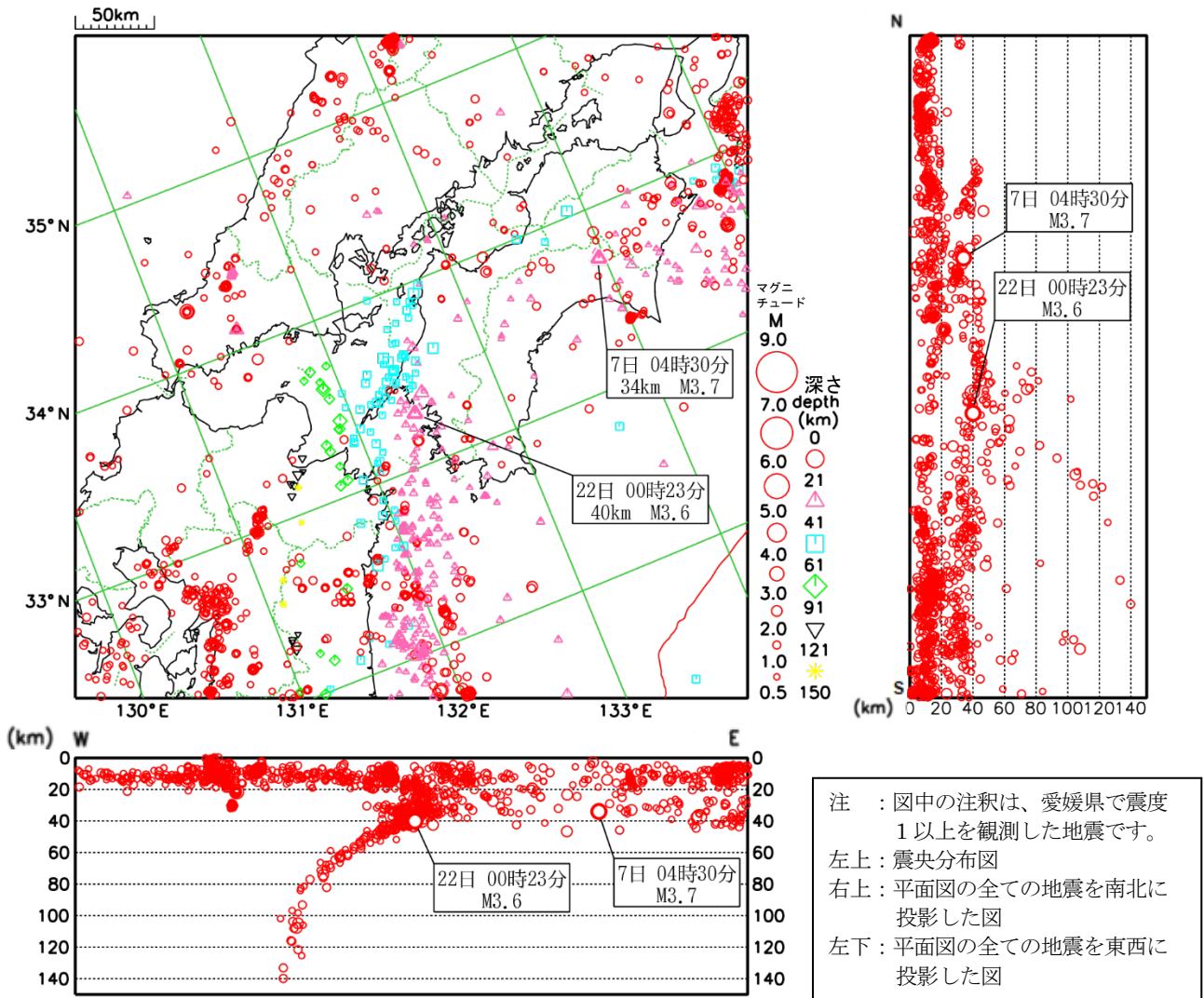
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2026年5月1日～5月31日]



2. 地震概況

2026年5月に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうち M2.0 以上の地震の回数は85回（先月は89回）、愛媛県内で震度1以上を観測した地震は3回（先月は6回）でした。

2日 18時28分 和歌山県南部の地震（震央分布図範囲外：深さ65km、M5.8）により、愛媛県今治市・松山市で震度2を観測しました。そのほか、和歌山県で震度4を観測し、関東から九州地方にかけて震度3～1を観測しました。

7日 04時30分 高知県中部の地震（深さ34km、M3.7）により、愛媛県今治市・上島町で震度1を観測しました。そのほか、香川県、高知県で震度2を観測し、中国・四国地方で震度1を観測しました。

22日 00時23分 豊後水道の地震（深さ40km、M3.6）により、愛媛県宇和島市で震度2を観測したほか、高知県で震度2を観測しました。

3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震

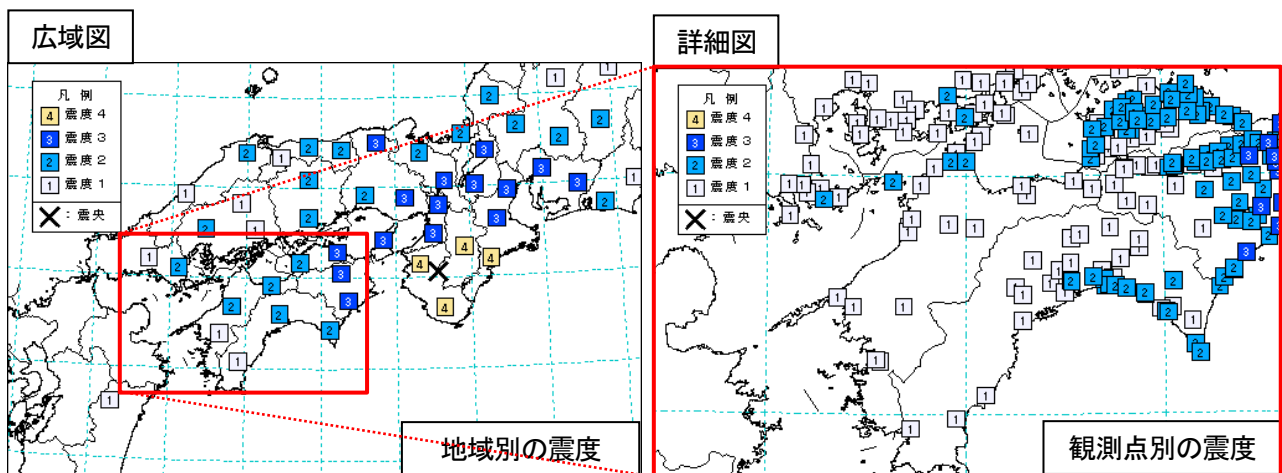
震源時(日時分)	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2026年						
05月02日18時28分	和歌山県南部	34°03.7'N	135°33.4'E	65km	M5.8	4
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 2: 今治市南宝来町二丁目,今治市大西町*,今治市大三島町*,松山市中島大浦* 震度 1: 今治市菊間町*,今治市吉海町*,今治市宮窪町*,今治市上浦町*,今治市波方町* 新居浜市一宮町,新居浜市中筋町*,西条市丹原町鞍瀬,四国中央市中曾根町* 四国中央市新宮町*,上島町魚島*,上島町生名*,上島町弓削*,松山市富久町* 松山市北条辻*,伊予市下吾川*,愛媛松前町筒井*,東温市南方*,宇和島市住吉町 宇和島市丸穂*,八幡浜市五反田*,大洲市肱川町*,伊方町湊浦*					

05月07日04時30分	高知県中部	33°42.9'N	133°57.7'E	34km	M3.7	2
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1: 今治市上浦町*,上島町弓削*					

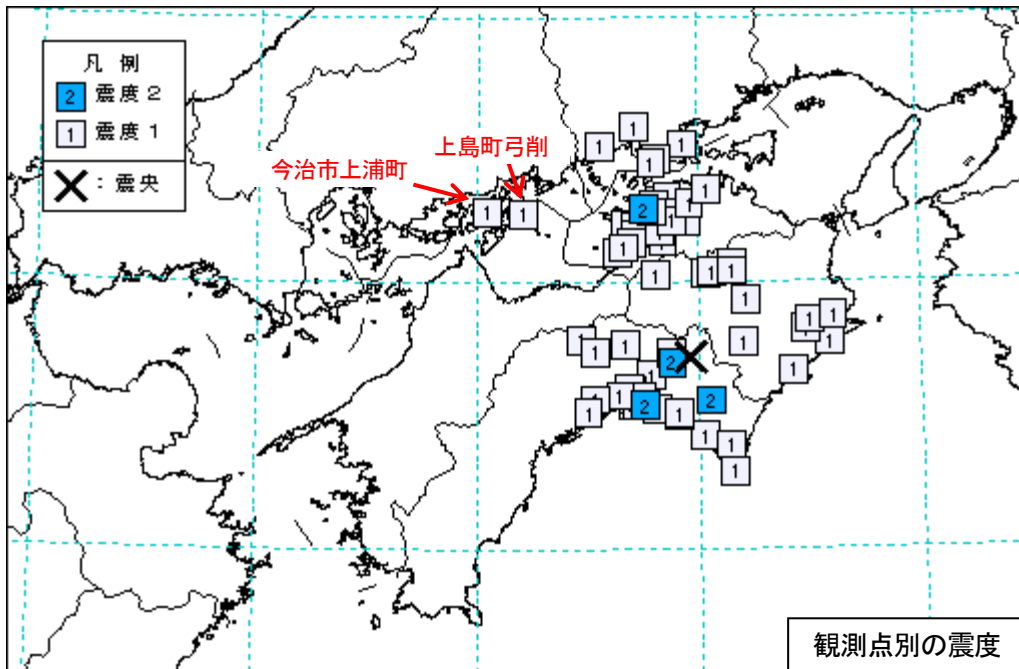
05月22日00時23分	豊後水道	33°17.7'N	132°24.2'E	40km	M3.6	2
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 2: 宇和島市三間町* 震度 1: 宇和島市住吉町,宇和島市丸穂*,宇和島市津島町*,宇和島市吉田町* 八幡浜市五反田*,八幡浜市保内町*,大洲市肱川町*,内子町平岡*,伊方町湊浦* 松野町松丸*,西予市野村町,西予市宇和町*,西予市三瓶町*,西予市明浜町* 愛南町船越*,愛南町一本松*,愛媛鬼北町近永*					

注: *印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

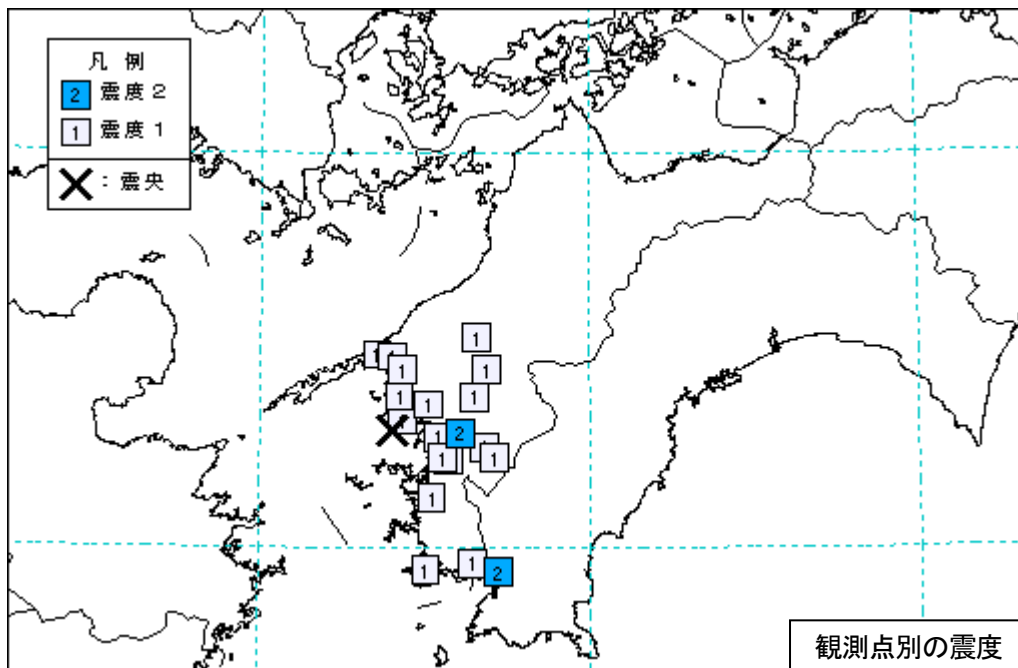
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図



5月2日18時28分 和歌山県南部



5月7日 04時30分 高知県中部



5月22日 00時23分 豊後水道

5. 地震一口メモ

地震予知はできるのか？

昨年、「7月5日に日本で巨大地震が発生する」という科学的根拠のないデマが SNS を中心に広く拡散され、社会にも大きな影響を与えました。結局その”予言”は的中しなかったわけですが、実際に地震を予知することは可能なのでしょうか？

結論から述べると、**現在または近い将来において「地震予知」を実現することはほぼ不可能です。**地震を予知するという事は、地震の起こる時、場所、大きさの三つの要素を精度よく限定して予測することです。あいまいな予測（例えば「(時) 一年以内に、(場所) 日本の内陸部で、(大きさ) マグニチュード5の地震が起こる」）や、毎日起きているマグニチュード4程度以下の小さな地震を予測するような場合はたいして当たりませんが、それらに情報としての価値はあまりないと言えます。

日本では「地震予知」を目指す研究が長らく行われてきました。しかしながら、観測がより正確に、多数行われるようになったり、地震発生 of 複雑な仕組みがわかってきたり、科学の発展によって簡単なシステムでも予測することが難しいことが明らかになったりするにつれ、地震を事前に予知するのは難しいということもわかってきました。以上から、一般に、日時と場所を特定した地震を予知する情報はデマと考えられます。

では「将来発生するかもしれない地震については何もわからないのか？」と言われるとそういうわけでもありません。地震予知（＝地震の起こる時、場所、大きさの三つの要素を精度よく限定して予測すること）は現在のところできない一方で、**将来のある期間にどこでどのくらいの地震が起こるかという確率は計算することができます。**この予測は「〇〇地域でマグニチュード〇程度の地震が〇〇年間に発生する確率は〇〇%」という形で示されます。これを「長期評価」と呼びます。現在の長期評価の結果は地震調査研究推進本部（以下、地震本部）のホームページから確認することができます。

長期評価 | 地震本部

https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/

ただし、発生確率の意味を正しく把握することは難しいため、特に確率の数字が小さい場合は注意が必要です。例えば、平成7年（1995年）兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）の発生直前の確率は0.02%～8%、平成28年（2016年）熊本地震の場合はほぼ0%～0.9%でした。地震本部では、一般・自治体の方々がリスクを正しく理解し、適切な防災・減災行動につながるように、長期評価の広報資料に確率に基づくランク分けを導入しています。

日本は地震国であり、地震が起こらない場所はないと言っても過言ではありません。日ごろから地震に対する備えをお願いいたします。



画像：気象庁 HP を編集

大地震後の地震活動（余震等）について | 気象庁

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/aftershocks/sitsumon_aftershock.html